

## 矢口川における内水対策の方向性について（案）

### 1. 基本方針

矢口川においては、平成 17 年及び平成 22 年に床上浸水を伴う内水被害が発生した。

当該河川においては、平成元年から排水機場の整備を進め、平成 13 年より 4 m<sup>3</sup>/s の排水能力を確保している。

以下に提示する総合的な内水対策は、排水能力の増強などのハード対策及び地域住民と連携したソフト対策の実施により、段階的かつ重層的な内水対策を講じることにより、近年、内水による浸水被害が生じている矢口川周辺地区の防災・減災を図るものである。

### 2. 内水対策の方向性

矢口川流域において、国、県、市の役割分担の下、約 8 m<sup>3</sup>/s の排水能力の増強（既存の排水能力を含め約 12 m<sup>3</sup>/s）と同等の対応を行うことにより矢口川の内水湛水域における内水被害の軽減（床上浸水の解消）を図るとともに、ソフト対策を行い、地域防災力の向上を図ることを目標とする。

表 今後の対策（案）

|       | 項目          | 具体的内容  |       | 実施期間 |
|-------|-------------|--|-------|------|
| ハード対策 | 排水能力の増強     | 約 8 m <sup>3</sup> /s と同等の排水機能の増強  | 矢口川流域 | 中長期  |
|       | 河川改修・維持管理   | 堆積土砂撤去、ネック部分の解消等   | 矢口川   | 短中期  |
|       | 雨水貯留浸透施設の整備 | 流出抑制策としての雨水貯留浸透施設の整備   | 矢口川流域 | 長期   |
| ソフト対策 | 河川情報の提供     | 防災情報の提供（浸水被害に関する情報の地域住民への周知、X バンド MP レーダ導入による詳細な降雨量分布の監視、情報表示板によるリアルタイムの情報提供等） |       | 短期   |
|       | 地域との連携      | 自主防災会組織の活動支援<br>防災マップの作成   |       | 短期   |
|       | その他         | 建築時等における浸水実績等の適切な情報提供及び助言  |       | 短期   |